

SONY LF-B1

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

本書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはロケーションフリーカスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
 - 異常な音、においがしたら
 - 内部に水、異物が入ったら
 - 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき
-
- ベースステーションの電源プラグをコンセントから抜く
 - お買い上げ店またはロケーションフリーカスタマーサポートセンターに修理を依頼する。

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

2-655-614-01 (1)

ご使用前に、この「安全のために」と題名の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとには、いつでも見られるところに必ず保存してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号




行為を指示する記号

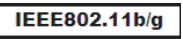
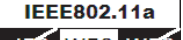
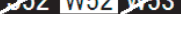


ベースステーションのワイヤレス通信について

電波障害自主規制について

この機器は2.4GHz帯および5GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。この機器と他の無線機器間との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

	この無線機器の使用周波数は2.4GHz帯および5GHz帯を使用します。変調方式として2.4GHzはDS-SSおよびOFDM変調方式、5GHzはOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は20mです。
---	--

	ベースステーションの5GHz帯無線LAN周波数は新チャンネルの5150～5250 MHz (36, 40, 44, 48 ch) に対応しています。
	詳細については、http://www.sony.co.jp/airboard/QA/をご覧ください。
	

ワイヤレス通信に関するご注意

- ベースステーションは、床から離れた、安定した場所に設置してください。
- 次のような環境で使用すると、ベースステーションとパソコンとの間で電波が通りにくくなり、通信距離が短くなる場合があります。
 - 鉄筋／コンクリート／石の壁や床や暖房の入った床
 - 鉄製の間仕切りやドア、防火ガラス、金属などの材料を使った家具や電化製品などがベースステーションとパソコンの間にある場合

<2.4GHz帯の場合>
この機器の使用周波数は2.4GHz帯を含んでいます。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ロケーションフリー カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 電子レンジ使用中に、2.4GHz帯を使用した場合本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機を使用してください。電子レンジを使用していないときは、本機は干渉を受けません。
 - 近くで2.4GHz、IEEE802.11b、IEEE802.11g準拠のワイヤレスLANアクセスポイントまたは、無線機器を使用しているとき、電波の干渉を受ける場合があります。本機のワイヤレスチャンネルを変更してください。

<5GHz帯の場合>

- 本機を屋外で使用する場合は、ワイヤレスチャンネルを2.4GHz帯に変更してください。法令により5GHz帯無線機器を屋外で使用することは禁止されています。
- 近くで5GHz、IEEE802.11a準拠のワイヤレスLANアクセスポイントまたは、無線機器を使用しているとき、電波の干渉を受ける場合があります。本機のワイヤレスチャンネルを変更してください。

この機器には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に添付されております。

ワイヤレスチャンネルの変更については、取扱説明書（PDF）の「ワイヤレス設定」をご覧ください。

ワイヤレスLANのセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいは、ワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、http://www.sony.co.jp/airboard/QA/をご覧ください。

ベースステーションのワイヤレス通信について

本機で対応しているワイヤレスLANセキュリティ機能について




- WEP


WEPは、IEEE802.11で規定されたワイヤレスLAN通信のセキュリティ技術で、暗号化されて通信が行われます。鍵長は64bitと128bitの2種類ありますが、安全性は128bit鍵の方が高くなります。WEPには、解読技術が存在しますので、同じ暗号鍵を長期間使い続けることを避けるようにおすすめします。
- WPA-PSK with TKIP


WPAは、WEPの欠点を改善する目的で開発されたセキュリティ技術です。本機ではTKIPと呼ばれる暗号と合わせて使用され、対応しているセキュリティの中では最も高度で安全です。


本機のワイヤレスLANセキュリティ設定について


- 出荷状態では、ベースステーションのワイヤレスLAN通信のセキュリティ設定はWEPです。より高度なセキュリティを使いたい場合は、WPA-PSKに設定を変更してください。
- 本機のワイヤレスLANの設定方法は、取扱説明書（PDF）の「ワイヤレス設定」を参照してください。





下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。



雷が鳴りだしたら、本機や付属品に触れない
感電の原因となります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。また、取扱説明書に記載されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない
火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにベースステーションの電源プラグをコンセントから抜き、ロケーションフリーカスタマーサポートセンターに点検・修理をご依頼ください。





ベースステーションの上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない
火災や感電の原因となります。



内部を開けない
火災や感電、けがの原因となります。また、本機は、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵され、かつ（財）電気通信端末機器審査協会の技術基準適合認定を受けた製品であり、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。内部の点検や修理は、ロケーションフリーカスタマーサポートセンターにご依頼ください。



LANケーブル、電源プラグのコードの配置に注意する
本機に取り付けるLANケーブルや電源プラグのコードが、人が歩く場所にはみ出ていると、足をひっかけるなどして、けがの原因になったり、本機の損傷の原因になったりします。



電源プラグやACパワーアダプターのコードを振り回さない
人やガラスなどに当たってけがをすることがあります。



お子さまの手の届かない場所に設置する
はずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり危険です。





下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。



安定した場所に設置する
ベースステーションは、ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



ベースステーションにスタンドを取り付ける
ベースステーションを設置する際は、必ずスタンドを取り付けてください。



ベースステーションの上にものを置かない
落ちてけがの原因となることがあります。



電源プラグや充電端子は定期的にお手入れを
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



電源プラグは、他機器との接続が終わってからつなぐ
コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、他機器との接続が終わったあとで、電源プラグの電源コードを壁のコンセントに差してください。（右図の順参照）
電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜いてください。壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは右図の③②①の順です。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。





電源スイッチを入れたまま、電源プラグ等の抜き差しをしない
電源スイッチが入った状態で電源プラグの抜き差しや他機器との接続をおこなわないでください。誤動作することがあります。


指定のACパワーアダプター以外は使用しない
火災や感電の原因となります。


ベースステーションを移動させるときは、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。


長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 この説明書は100%古紙再生紙と、VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

 警告	下記の注意事項を守らないと 火災・感電 などにより 死亡 や 大けが の原因となります。
 	

ベースステーションを布や布団などでおおった状態

で使しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

ACパワーアダプターを誤った方法で使しない

ACパワーアダプターを誤った方法で使すると、熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

以下の方法を必ず守って、本機をお使いください。

- ACパワーアダプターのまわりに物を置かない。
- ACパワーアダプターを布などでおおわない。
- 2つ以上のACパワーアダプターを重ねない。
- ACパワーアダプターを箱などに入れない。



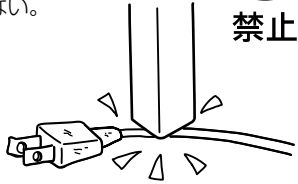
禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはロケーションフリーカスタマーサポートセンター（おもて）に交換をご依頼ください。




禁止

たこ足配線をしない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

 警告	下記の注意事項を守らないと 医療器機 などを 誤作動 させるおそれがあり事故の原因となります。
--	---

本機を病院内に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

ベースメーカーなどの近くで使しない

ベースメーカーなどの医療電気機器を使用中に、本機を近づけないでください。医療電気機器が誤動作する可能性があります。



禁止

IEEE802.11aモードは屋外で使しない

法令により、5GHz帯を屋外で使用することは禁止されています。




禁止

本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

 注意	下記の注意事項を守らないと けが をしたり周辺の 物品 に 損害 を与えたりすることがあります。
--	---

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管

しない

内部の温度が上がリ、火災や故障の原因となることがあります。



注意



注意

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。

- ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグ、ACパワーアダプター

およびベースステーションにさわらない

感電の原因となることがあります。



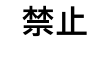
ぬれ手禁止



禁止

ベースステーションに長時間触れない

ベースステーションに手などを触れたままにしないでください。温度が上がリ、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

ACパワーアダプターのコードや電源コードを

ACパワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。



禁止

ベースステーションに強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。



禁止

ご使用上のご注意

落とさないでください

本機に強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。

取り扱いについて

- 本機を雨または湿気にさらさないでください。ベースステーションの間隙から内部に水が入り込み、故障の原因となります。
- 必ず、付属のACパワーアダプターを使用して電源につないでください。
- 本機を開けたり分解しないでください。
- 電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。
- (財)電気通信端末機器審査協会より技術基準適合認定を受けており、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。

通信不良によるお客様の損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねます。通信内容が漏れたことに対しても、当社は一切その責任を負いかねます。
--

置き場所について

- 次のような場所に置かないでください。
 - 異常に高温になる場所：炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
 - 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所：変形したり、故障したりすることがあります。
 - 濡れた場所
 - 振動の多い場所
 - 強力な磁気のある場所
 - 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所：海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなる場合があります。
 - ぐらついた台の上や傾いた場所
 - 高い場所：落下してけがの原因になります。
 - 風呂場など、湿気の多い場所
- 本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- ベースステーションはできるだけ床から離し、パソコンとベースステーションの間に障害物の少ない場所を選んで設置してください。
- 安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下してけがの原因になります。
- 誤って足で踏んだり、上から物を落としたりすることがないような場所に設置してください。
- ゴムやプラスチック製品など、熱に弱いものの上に置いて使しないでください。本機の熱により、変形、変色の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで使うと、映像の乱れや雑音の原因となることがあります。このような場合は、テレビやラジオから離れた場所でお使いください。
- お子さまの手の届かない場所に設置してください。はずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり、危険です。
- 本機を病院内に設置して使しないでください。医療機器の誤動作の原因となることがあります。
- 本機と同じ無線周波数を使用する他の無線機器を同時に使用すると、転送速度の低下や伝送エラーが発生することがあります。
- 2.4GHz帯を使用した場合、電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは本機が電子レンジの干渉を受けることはありません。

動画表示について

テレビやビデオを見ているとき、表示の一部がブロック状に見えることがありますが、画像処理によるもので、故障ではありません。

ケーブルについて

本機に接続するケーブルは、電磁界妨害防止のため、3 m以下のものをお使いください。

結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、本機の内部の部品に露（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。電源プラグを電源コンセントから抜いて、約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

ご使用上のご注意

お手入れ

- お手入れをする前に、必ずベースステーションの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 乾いた柔らかい布、または水をかたくしぼった布で軽く拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、色落ちや変色する場合がありますので、ご注意ください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 液体状の洗剤などは使しないでください。本機の内部に入って、故障の原因となることがあります。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブルなどをすべてはずしてください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱を使ってください。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。